

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンターつぼみ		
○保護者評価実施期間		令和7年6月1日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人 (22人兄弟利用2家庭含む)	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間		令和7年6月1日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年12月1日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内で継続的に途切れのない支援が出来る	光陽福祉会では、未就学児、小学部、中学部、高等部、就労部門暮らし部門等、途切れのない支援が受けられる。事業所間の情報共有に努め、実際に見学会を設けて先の見通しが持てるように支援を行っている。また、イメージしやすい伝え方に配慮している。	保護者様にも、勉強会や、オープン光陽等のイベントの機会を設けて、実際に活動の様子や建物内を見て頂き、理解を深めている。たくさんの方に周知して頂けるように、見学機会を増やす等、配慮している。
2	育児に不安を抱えている保護者の方に相談できる場を設けている。	当方には、障害のある子どもを育てている父、母も勤務しており、ピアカウンセリングを行っている他、保護者会を定期的に開催している。悩みに合わせたアドバイスが可能な条件を揃えている。	当方には、顧問弁護士、司法書士、顧問ドクター、建築士等の専門家を配置しており、福祉を超えた相談にも対応可能としている。
3	多彩なサービスの提供が出来る	法人設立時より、5領域療育に取り組んできました。その為、多彩なプログラムと個々の苦手に取り組めるプログラムを16年の月日と経験で培ってきていている。 4月から訪問診療・訪問歯科を開始している。ご利用者の皆様の生活の安定と健康支援を目的として、医療機関との連携にも努めている。	療育を通して、楽しいだけでなく苦手なことにもチャレンジできるようなきっかけ作りを行い、達成感を感じられるような内容にしています。また、今後も興味関心が広がるようなプログラムの内容にしていきたい。 医療と連携することにより、更に専門的な視点から子どもたちに支援を行っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幸い、有難いことに利用を希望して頂ける方が多くいる。1日の利用定員があり、お断りをしなければいけない現状がある。	法人設立時から5領域活動に力を注いできたことで、ひとつひとつプログラムに人気が高まり、利用が重なる事が多い。	幼稚園や保育園にも協力を頂きながら、利用日の調整を行っていきたい。また、園では体験出来ない療育の提案をしながら、その子にあったより良い支援が行えるようにしていきたい。
2			
3			